

消防業務システムに係る実証事業の状況

令和6年2月28日
消防庁防災情報室

本資料の内容

本資料の説明範囲

検討のベースとしている消防本部の課題・ニーズ※

高度化検討における検討事項

標準インターフェイス検討

代理通報事業者から位置情報等がデータ接続されるとよい

通報者から現場の画像や映像を取得できるとよい

一定の要件を満たすことを前提に、データ通信による緊急通報をうけられるようにすべき

- 消防機関への緊急通報に係る標準インターフェイスの整備

携帯電話網活用のため、指令システムとのインターフェイスを共通化できるとよい

AVMのコストを削減したい

位置情報を転送したい

- IP無線やAVMIに関する標準インターフェイスの整備等

消防本部向け資料の作成

調達機会が少なく本部にノウハウが蓄積されない

標準的な機能や定義がなく仕様検討・予算確保が大変

外部接続時に必要なセキュリティ対策についてガイドライン等の基準があるとよい

- 指令システムの基本的な機能、標準的な業務フローの整理
- 指令システム更改の調達仕様書ひな形の作成
- 非機能要件定義に係るガイドラインの作成
- 消防本部のセキュリティ対策に係るガイドラインの作成

データベースに係る検討

異ベンダー製品や新機能へのデータ移行が円滑かつ低コストで行えるとよい

- データ移行時の中間ファイルの標準化(指令システム・業務システム)

標準化・クラウド活用・ネットワーク検討

システム構築の財政負担が大きい

機能や規模の拡張性が高い柔軟なシステム設計にできるとよい

- 業務システムの標準化・クラウド活用のための標準仕様の策定

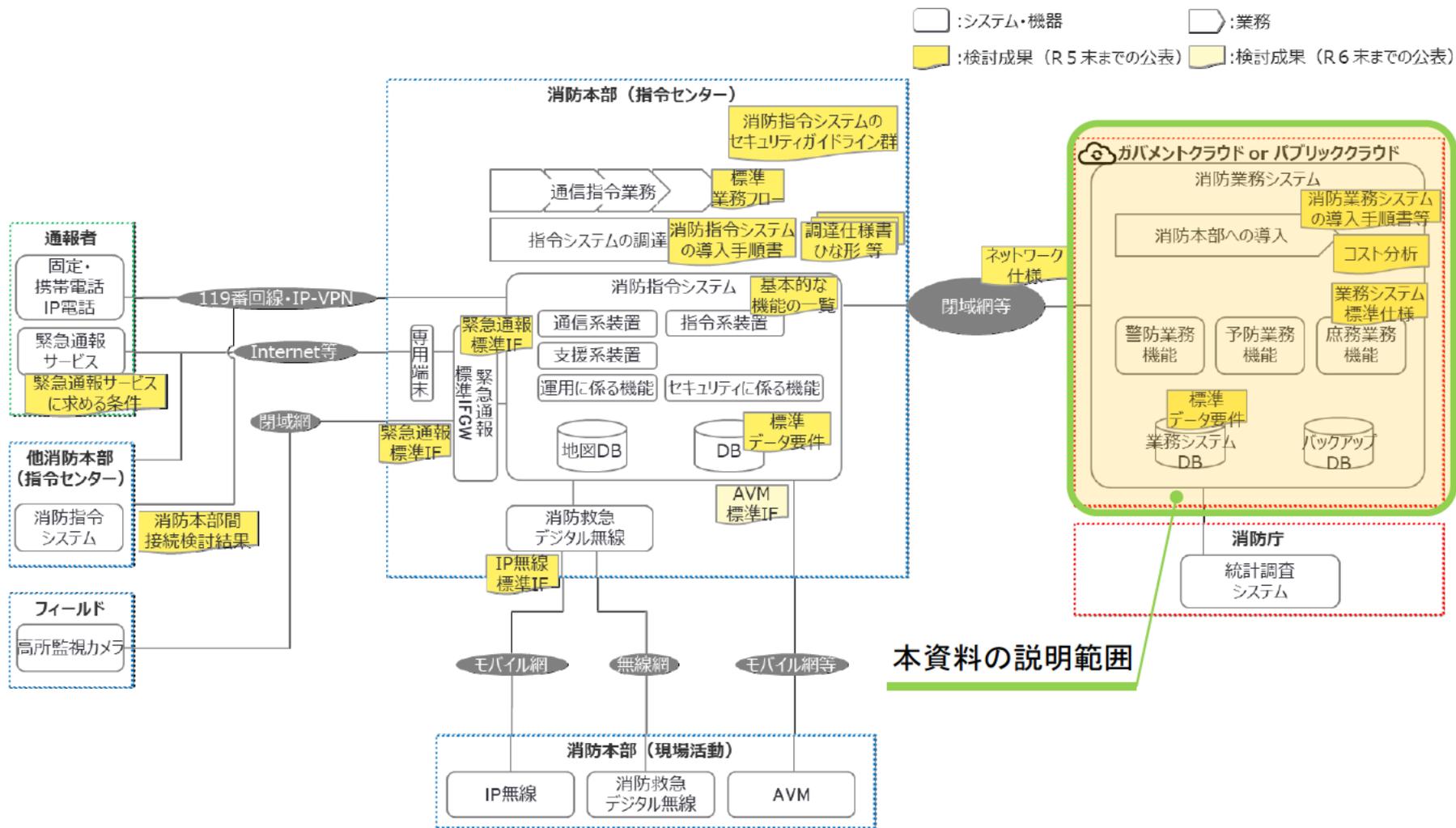
消防全体としてネットワークの在り方について検討が必要

他消防本部や応援部隊、他機関とデータ連携できるとよい

- ネットワークの在り方検討
 - 消防本部-クラウド間
 - 消防本部-消防庁間
 - 消防本部-他消防本部間

※令和2年度に実施した全国消防本部へのアンケート結果から、現在の検討における目的としている課題・ニーズを抜粋

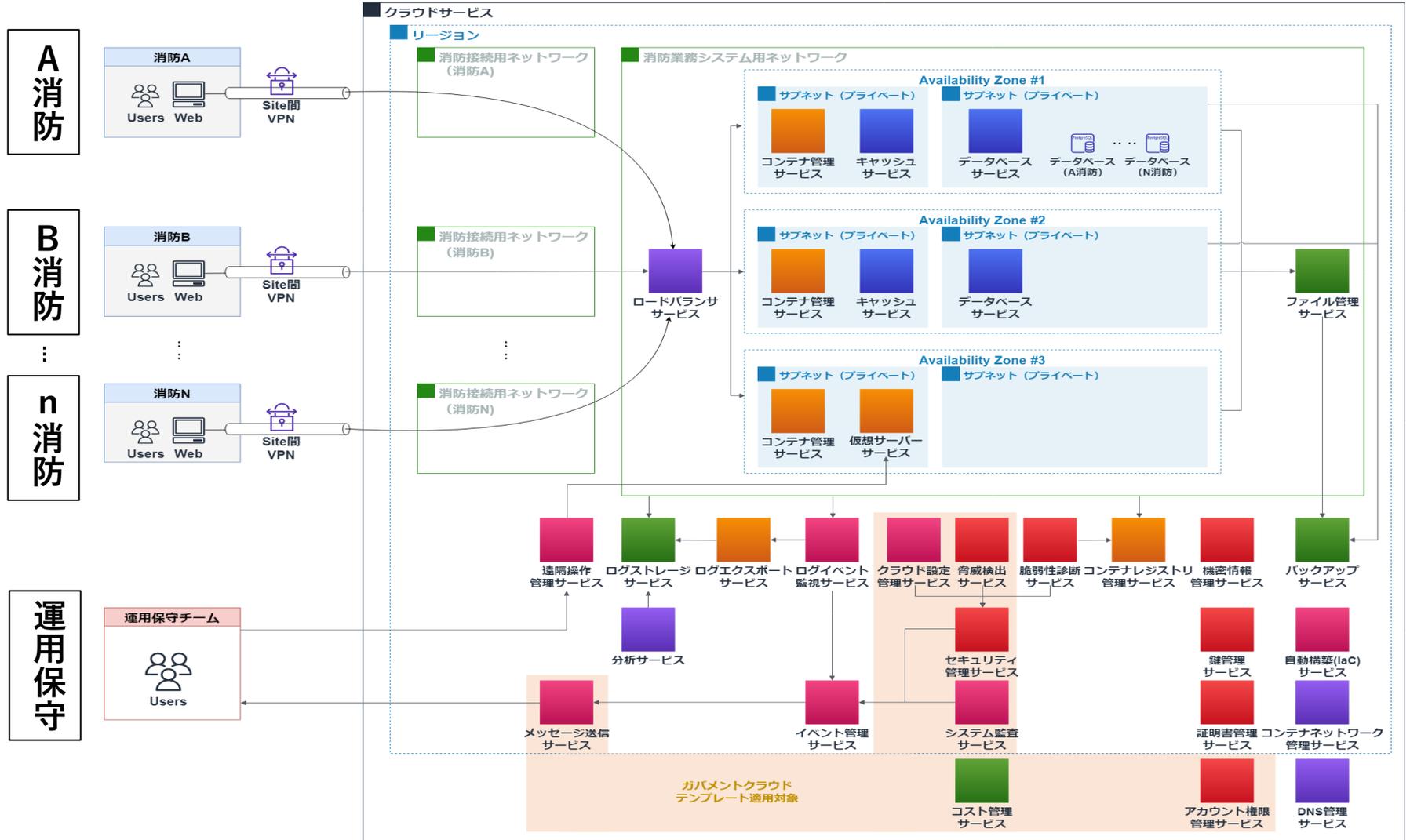
全体像における本資料の内容



消防業務システムに係る実証事業の状況

- 消防業務システムのクラウド活用に向けて、ガバメントクラウド上で実証実験を進めている。

本実証のシステム構成



消防業務システムに係る実証事業の状況

○ 本実証の成果は、令和6年10月公表予定の標準仕様書第2版に反映する。

■ 負荷試験に関する状況報告

負荷をかけながら消防業務システムの応答時間を測定

結果

- 問題なく作動し、目標応答時間を満たすことを確認
- 限界性能に関する試験ケースも確認済み

測定方法

- 30消防※からの同時アクセスを想定した負荷試験
※大・中・小規模 各10本部からの接続を再現

測定結果

処理項目	応答目標	実測平均	評価
画面遷移	2秒以内	0.34秒	○
検索1000件	5秒以内	0.30秒	○
登録/変更/削除	2秒以内	0.62秒	○
帳票(統計表)	30秒以内	23.52秒	○
帳票(単票)	10秒以内	0.85秒	○
帳票(一覧)	10秒以内	4.95秒	○
CSV出力	60秒以内	39.17秒	○

<処理項目の内訳>

- 帳票(統計表) 実態調査表(国表)や救急統計等
- 帳票(単票) 固定帳票
- 帳票(一覧) 一覧表
- 実測平均(帳票) 指示をしてから帳票がダウンロードできるようになるまでの時間

継続

本実証は、令和6年3月に完了予定

■ 本実証の試験項目

試験項目	評価ポイント
最適なアーキテクチャの検討・策定	<ul style="list-style-type: none">マネージドサービス等を活用し、モダン化に対応したシステム構成になっていることガバメントクラウドのセキュリティポリシーに準拠したシステム構成になっていることガバメントクラウドで推奨される IaC(構成管理の自動化)に対応したシステムであること
クラウドを利用した場合のトランザクション処理	<ul style="list-style-type: none">消防業務システムに必要な性能目標が定義され、その動作検証ができていること
可用性に関するデータ取得	<ul style="list-style-type: none">消防業務システムに求められる可用性、及び障害復旧手段が明確になっており、検証されていること災害などの緊急事態が発生した場合においても、消防業務システムで重要な機能を利用できる代替手段が提示されていること
投資対効果に関するデータの取得	<ul style="list-style-type: none">消防業務システムをガバメントクラウドにしたことによるコスト削減効果を提示すること

反映

(令和6年10月公表予定)

消防業務システム
標準仕様書群
(第2版)